

# 市議会だより

## 11月定例月議会号

祝! こにゅうどうくん紅白出演



こにゅうどうくんが、平成27年12月31日大みそかに「第66回NHK紅白歌合戦」に出演しました!

《写真上：一緒に出演した「ねぼる君」「出世大名康くん」「はばタン」「むすび丸」》

《写真右下：出演に向けた踊りの練習の様子》

11月  
定例月議会

### 平成27年度 一般会計、特別会計、企業会計補正予算案や客引き行為等の防止に関する条例の制定などを可決

#### 目次

- ◎11月定例月議会の概要、日程..... 2ページ
- ◎議案・請願の議決結果、賛否一覧、討論など..... 2～4ページ
- ◎委員会審査の概要、予算常任委員会全体審査の概要、  
予算常任委員会分科会審査の概要..... 5～7ページ
- ◎議案に対する意見募集、2月定例月議会の予定..... 7ページ
- ◎一般質問..... 8～16ページ
- ◎一般質問をした議員と項目..... 16～17ページ
- ◎市議会モニターの募集、2月定例月議会の議会報告会の予定..... 17ページ
- ◎8月定例月議会の議会報告会の概要..... 18～19ページ
- ◎意見書、議員説明会、四日市のまちなかを元気にするキャッチコピー募集、  
市議会ホームページについて、市議会モニターとの意見交換会など..... 20ページ



## ●●● 11月定例月議会の概要 ●●●

四日市市議会は、11月定例月議会を11月27日から12月24日までの28日間の日程で行いました。

11月定例月議会では、平成27年度の一般会計、特別会計および企業会計の補正予算や、公共の場所において、市民等に著しく不安を与え迷惑をかける客引き行為等を防止するため、不当な客引き行為等の禁止に関し必要な規定を設けようとする客引き行為等の防止に関する条例の制定についてなど、市長から提案された18議案を審議し、原案のとおり可決しました。

また、ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出と、年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書の提出、市議会会議規則の一部改正の議員提出議案3件を原案のとおり可決したほか、4件の請願を採択しました。

### 11月定例月議会の日程

11月27日(金) 初日(議案説明、報告、質疑)	11日(金) 産業生活常任委員会／ 予算常任委員会産業生活分科会
12月3日(木) 一般質問	都市・環境常任委員会／ 予算常任委員会都市・環境分科会
4日(金) 一般質問	
7日(月) 一般質問	
8日(火) 一般質問	14日(月) 教育民生常任委員会
9日(水) 一般質問、質疑、委員会付託	17日(木) 予算常任委員会全体会
10日(木) 総務常任委員会／ 予算常任委員会総務分科会 教育民生常任委員会／ 予算常任委員会教育民生分科会	24日(木) 最終日 (委員長報告、質疑、討論、採決)
	-----
	1月7日(木) 議会報告会(都市・環境)
	8日(金) 議会報告会(総務)
	9日(土) 議会報告会(教育民生、産業生活)

### 議案の議決結果

市長提出議案	議案名	議決結果	
議案第40号	平成27年度 一般会計補正予算(第6号)	原案可決	賛成多数
議案第41号	平成27年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員
議案第42号	平成27年度 食肉センター食肉市場特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員
議案第43号	平成27年度 介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員
議案第44号	平成27年度 水道事業会計第1回補正予算	原案可決	全員
議案第45号	平成27年度 市立四日市病院事業会計第2回補正予算	原案可決	全員
議案第46号	平成27年度 下水道事業会計第1回補正予算	原案可決	全員





## 請願の議決結果

請 願	件 名	議決結果	
請願第7号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出	採 択	全 員
請願第8号	年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書の提出	採 択	賛成多数
請願第9号	市立あけぼの学園の発達支援と途切れのない支援の充実を求めること	採 択	全 員
請願第10号	拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律（通称北朝鮮人権法）に伴う四日市市の対応を求めること	採 択	賛成多数

## 請願の賛否一覧表

※ 請願について、賛成、反対の双方あった場合のみ、表示しています。

会 派 議員名	議決 結果	賛 反 成 対	新風創志会							リベラル21					政友クラブ					公明党			市民会議			日本共産党										
			石川善己	荻須智之	谷口周司	豊田政典	早川新平	平野貴之	三木隆	諸岡 覚	加納康樹	竹野兼主	中森慎二	樋口龍馬	藤田真信	村山繁生	森智 慎	伊藤嗣也	小川政人	川村幸康	笹岡秀太郎	中村久雄	日置記平	森康 哲	荒木美幸	伊藤修一	中川雅晶	樋口博己	山口智也	小林博次	土井数馬	三平一良	太田紀子	加藤清助	豊田祥司	
請願第8号	採 択	32: 1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第10号	採 択	28: 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	

※ ○は賛成 ×は反対  
 ※ 議長（加納康樹）は採決に加わらない。

### 請願第10号 討論（反対）

本請願は、学校現場において拉致問題をテーマにした政府制作アニメの恒常的な上映会などの教育の実施を求めているが、教育委員会は通称北朝鮮人権法の趣旨を踏まえ、学校長に活用を依頼しており、学校現場が自ら判断をして確実に対応している。また、これらの教育内容の実施を市長に求めているが、公教育の政治的中立性の観点から疑問が残る。昨年提出された請願と同趣旨の内容でもあり、賛成5・反対30で不採択とした経緯があり一貫した判断が重要であるため、本請願には反対する。  
 （山口智也議員）

### 請願第10号 討論（賛成）

本市は、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律の趣旨に沿った活動が実施されているとは言えず、毎年12月10日から16日の北朝鮮人権問題啓発週間においても、ポスター掲示以外の活動は行っていない。本請願は、啓発や情報の共有、子供たちへの拉致問題に関する学習を求めるといった内容であり、反対する理由は見当たらない。拉致問題を他人事とせず、国民一丸となることが早期解決への道であり、私たち市議会が率先して向き合うことが必要と考え、賛成する。  
 （荻須智之議員）



### 平成27年8月定例月議会における発議番号の重複について

平成27年8月定例月議会に上程した「地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書の提出について」の発議番号について、6月定例月議会最終日に上程した「議員の派遣について」と同じ発議第8号と採番したため、発議番号の重複が生じたこととなりました。  
 なお、発議番号が重複していることにつきましては、法的に問題はないため現状のままとさせていただきます。今後このようなことのないように努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

## 委員会審査の概要

常任委員会における条例の制定、一部改正や契約を締結しようとする議案などについての審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

### 総務常任委員会

- ◆ 市税条例等の一部改正について、委員からは、納税環境整備に係る条例改正後の取り組み姿勢について質疑があり、担当部局からは、納税者の負担軽減の観点から行われる改正だが、日常納税相談している中には、規定された措置が適用されないケースもある。法律と実態を補完する取り組みとして、今後もきめ細かい対応と生活実態に寄り添った相談を行い、納税に対して誠実な意思を持っている方は、分割納付等による一時的な救済措置を行いたいとの回答がありました。

### 教育民生常任委員会

- ◆ 桜運動施設の指定管理者の指定について、指定管理者を公募によらず、特定して指定しようとする場合における、指定管理者選定委員会開催の必要性を確認する委員からの質疑に対し、担当部局からは、特定であっても、選定審査において、提案内容に係る配分点が6割に満たないと、指定管理者の候補者になれないとの回答がありました。

### 産業生活常任委員会

- ◆ 客引き行為等の防止に関して、禁止行為、中止命令、罰則等に関する事項を規定する客引き行為等の防止に関する条例の制定について、委員からは、警察は、当条例において罰則の対象となる行為を発見した際に、即座に当該行為を行った者の身柄を拘束することができるのかとの質疑があり、担当部局からは、マッサージ等の異性が専ら人の身体に接触して行う行為の提供に係る客引きについては、直罰規定となっているため可能であるが、同行為の客待ち並びにキャバクラ、ホストクラブ等で行われる異性による接待をして酒類を伴う飲食をさせる行為の誘引及び客待ちについては、市長の中止命令を経た後、それに従わない者を警察へ告発するという手続きとなる。なお、異性による接待をして酒類を伴う飲食をさせる行為の客引きについては、三重県条例の規制対象となっており、警察の権限において身柄の拘束を行うことができるとの回答がありました。

### 都市・環境常任委員会

- ◆ 環境保全審議会条例の一部改正についておよび市道路線の認定について、別段異議はありませんでした。

## 予算常任委員会 審査の概要

予算の審査については、総務、教育民生、産業生活、都市・環境の各分科会で、おのの所管に属する予算について詳細な審査を行った後に、予算常任委員会の全体会において各分科会がそれぞれの審査の経過と結果の報告を行い、必要な事項については全体会で審査しました。全体会および分科会における主な意見等の概要をお知らせします。

### 予算常任委員会全体会

- ◆ 決算剰余金の積み立てについて、委員からは、財政調整基金については行財政改革プランで掲げられた積立目標額100億円が既に確保されている一方で、国体関連施設をはじめとした大規模な施設整備が予定されているが、市民への分かりやすい説明の観点からも、市の置かれた状況に即した都市基盤・公共施設等整備基金への積み立てが適当ではないかとの意見がありました。これに対し担当部局からは、将来の大規模投資に向けた財源確保の必要性については十分認識しており、昨年、決算剰余金を都市基盤・公共施設等整備基金に積み立てを行い、本年も収支差額を同基金に積み立てることとしている。今回、財政調整基金に法定積み立てを行うに当たっては、大規模災害やそれに伴う

税収減への備えに加えて、補正予算の提案時期において、平成28年度税制改正に係る固定資産税の減免実施に向けた動きがあり、基礎自治体の税収の根幹をなす財源が失われることが危惧されたこと、また、今後、医療費を中心とした社会保障関連経費の伸びの加速も予見されることなど厳しい状況下にあることから、現在の基金にさらなる積み増しを行い、本市のまちづくりを確実に実施していくために、それを活用しながら財政運営を行う必要があると判断したとの回答がありました。こうした議論を経て、委員からは、今回は財政調整基金への積み立ては行わず、次回の定例会月議会において都市基盤・公共施設等整備基金に積み立てるという考え方のもと、当議案について、積立金のうち

財政調整基金相当分の10億5400万円を減額する修正案が提出され、賛成少数で否決されました。また、委員からは、本補正予算の執行に当たっては、歳出第2款総務費、第1項総務管理費のうち、第21目諸費、第25節積立金について、補正予算額20億4084万4000円全額

を都市基盤・公共施設等整備基金に充てることを求める附帯決議を付すべきとの提案がありましたが、賛成少数で否決され、附帯決議は付さないことに決しました。

## 予算常任委員会分科会

### 総務分科会

- ◆ (仮称) 北部消防分署建築設計業務委託について、拠点防災倉庫を含め、北部分署と南部分署のそれぞれの事業費を問う委員からの質疑に対し、担当部局からは、現時点の概算では、北部は、造成と建設でおよそ5億8000万円程度でありその他、県負担の事業分が3000万円から4000万円程度加わる予定である。南部は、当初予算ベースで、用地取得、造成、建設を合わせて、5億1000万円程度であるとの回答がありました。さらに委員からは、北部分署は、沿岸部にある北消防署が災害時に冠水する恐れもあることから、その補完機能を有する必要があるが、まだ機能が不足しているのではないかとの質疑があり、担当部局からは、北部分署は南部分署よりも規模を大きくしている。しかし、北消防署の機能を移す事態となった場合には、多くの人員や車両を収容する必要があることから、今後の実施設計において、計画規模の範囲内で、仮眠室の2段ベッド化や倉庫の仮眠室としての応急的な活用などについて工夫したいと考えているとの回答がありました。

### 教育民生分科会

- ◆ 児童発達支援センターあけぼの学園移転整備事業について、委員からは、議案に対する意見募集では市民の意見を聴く機会を求める意見が寄せられており、あけぼの学園移転整備に係る事業計画の前倒しによる具体的な効果や整備内容の詳細について、早期に周知を図り、市民に分かりやすく説明すべきではないかとの質疑があり、担当部局からは、ハード整備が最終的な目的ではなく、ハード整備を生かして充実した運営を行っていくことが一番重要であり、今後、意見交換の場も設けるなど積極的に取り組みを進めていきたいとの回答がありました。また、委員からは、事業計画の前倒しには賛成するが、単に早期に完成すればいいものではなく、支援体制を充実させた形で整備していくことを十分に考慮して事業を進めてほしいとの意見がありました。
- ◆ 少人数学級拡充事業について、委員からは、現場の各教員の負担が重くなっている現状や30人以下学級編制を維持するための教員の加配は理解するが、学級数が増えた分だけ教員を増やすというだけにとどまるのではなく、教員数が増えることで、業務の質や研修の

幅を広げるようなスケールメリットを出すことはできないのかとの質疑があり、担当部局からは、組織的に学級数が多い方が学年運営に幅が広がり、活動も大きくなるため、今後の指導や手法の研究を進めていきたいとの回答がありました。それに対して委員からは、加配によるスケールメリットを生かした教育手法を作り上げるため、より発展的な取り組みの研究は必要であり、本市ならではの計画的な取り組みを検討してほしいとの意見がありました。

### 産業生活分科会

- ◆ 市立四日市病院の業務・事務処理委託等に要する経費のうち、臨床検査業務委託について、委員からは、一般競争入札によったとしても応札できるのがその3者となるのであれば、指名競争入札とする必要はないのではないか。決算審査における監査委員からの意見を踏まえれば、入札方法の運用についても検討する必要があると考えるが、指名競争入札とするのであれば理由を明確にしておく必要があるのではないかとの質疑があり、担当部局からは、臨床検査業務については、その結果により医師の診断に大きな影響が出るものであり、確実性・信頼性が求められる業務であるため、指名競争入札としているとの回答がありました。これに対し委員からは、これから契約行為に入っていく段階において、院内の業務・事務処理委託等に関する契約方式や入札方法について、病院としての考え方を整理し、議会に報告すべきであるとの意見がありました。

### 都市・環境分科会

- ◆ 公園施設長寿命化整備事業について、委員からは、国の交付金が内示割れとなった主な理由は、平成33年度に開催される国民体育大会の影響が大きいとのことであり、公園の遊具については、その間修繕して機能を維持していくとのことであるが、安全性に問題はないのかとの質疑があり、担当部局からは、公園の遊具については、年1回点検を実施しており、必要なものは部材を取り換えるなど、修繕を行っているため、安全性は維持できるものと考えている。今後、国民体育大会に向けての整備が終わり次第、順次、国庫補助を活用して公園施設の更新を行いたいとの回答がありました。



- ◆ 上下水道局が委託する交通整理業務について、委員からは、平成29年度から10%に増税される消費税が計上されており、今後、各種委託事業にも反映されていくこととなるが、人材不足等の社会情勢を勘案すれば、もう少し長い目で見た場合、企業会計として委託した方が良いこともあれば、職員として雇用した方が結果的に安価である場合もあると考えており、画一的に外部委託を進めるのではなく、より適正な業務のあり方

を模索していく姿勢が必要であるとの意見があり、担当部局からは、そうした視点も重要であると考えており、各々の業務内容を委託すべきか直営とすべきかなど、効果や効率性という観点から検討したいとの回答がありました。これに対して委員からは、本件に関しては、改めて当委員会へ報告すべきであるとの意見がありました。

## 各定例月議会における議案に対するご意見の募集について

重要な議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。11月定例月議会でもいただいた主なご意見の概要は、次のとおりです。いただいた全ての意見は市議会ホームページに掲載しています。

- ◆ 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の制定（議案第47号） 5件  
〈意見〉 条例で規定しないと個人番号は使えないのか。民間企業が使用するときはどうするのか。もっと柔軟に特定の人が許可すれば使用できるような条例にできないのか。
- ◆ 児童発達支援センターあけぼの学園移転整備事業（補正予算） 4件  
〈意見〉 あけぼの学園の整備事業は、非常に好ましいことと考える。あけぼの学園が拡充・整備を遂行されて、障害や発達が気になる子どもたちへの支援事業が拡充されることを願う。

- ◆ 客引き行為等の防止に関する条例の制定（議案第50号） 2件  
〈意見〉 条例制定の背景、内容は正論であり、営業活動の域を出た行為は、社会の民主性に沿わない行為と言え、粛正は必要と思う。適切な運用に配慮をお願いします。
- ◆ 近鉄川原町駅付近連続立体交差事業（補正予算） 3件  
〈意見〉 事業の実施により、交通の渋滞は緩和される実感は有る。この事業について、交通量の増加に伴う事故の防止策の実施と、住民への周知を行うことおよび老人、小人、児童の安全策に重点を置いて諸事進捗願いたい。

2月定例月議会については、2月8日（月）に市議会ホームページ（<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>）に議案および議案資料を掲載し、2月24日（水）までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしております。

## 2月定例月議会の予定

（日程は都合により変更する場合があります）

2/12(金)	初日	午前10時	15(火)	予算常任委員会全体会	午前10時
19(金)	代表質問	午前10時	16(水)	予算常任委員会全体会	午前10時
22(月)	代表質問／一般質問	午前10時	17(木)	予算常任委員会全体会(予備日)	
23(火)	一般質問	午前10時	23(水)	最終日(委員長報告・採決)	午後1時
24(水)	一般質問	午前10時			
25(木)	一般質問	午前10時	26(土)	議会報告会(総務)	午前9時45分
26(金)	一般質問・追加議案・議案質疑・委員会付託	午前10時		議会報告会(都市・環境)	午後1時
29(月)	各常任委員会／予算各分科会	午前10時	28(月)	議会報告会(産業生活)	午後6時30分
3/1(火)	各常任委員会／予算各分科会	午前10時	30(水)	議会報告会(教育民生)	午後6時30分
2(水)	各常任委員会／予算各分科会	午前10時			
3(木)	各常任委員会／予算各分科会	午前10時			
4(金)	各常任委員会／予算各分科会(予備日)				
10(木)	予算常任委員会全体会	午前10時			
11(金)	予算常任委員会全体会	午前10時			
14(月)	予算常任委員会全体会	午前10時			

※すでに終了している委員会は、3/4、17は開催しません。  
 ※一般質問の様様をCTY122ch（サブチャンネル）で放送する予定です。  
 ※本会議の様様は市議会のホームページで生中継し、その映像は、後日録画中継として配信します。  
 ※各常任委員会の様様はUstreamで生中継し、YouTubeで録画中継もご覧いただけます。市議会のホームページからご覧ください。

# 一般質問から

一般質問は、定例会議が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

11月定例会議は、22人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット議中継」または「会議録（次の2月定例会議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

## 福祉

### GPS機器を活用し搜索機能を強化せよ



公明党  
山口 智也

**議員** 群馬県高崎市では、徘徊行動が見られる高齢者の介護者等にGPS（※）機器を無償貸与し、24時間365日体制で委託先の見守りセンターが位置情報を把握し、早期発見、保護を支援する取り組みを平成27年10月に開始した。本市もGPS機器購入の補助制度はあるが、利用料や搜索料は補助対象外で年間の補助件数も数件である。本市も支援の対象や、機器の無償貸与などの制度を拡充すべきと考えるがどうか。

**健康福祉部長** GPS機器の無償貸与は、利用を奨励する意味で有効な取り組みと考えるが、徘徊の危険性のある方が、GPS機器を常時携帯して外出するのが難しいか、また、見守りセンターへの委託の費用対効果などいくつか検証すべき点もある。先進地の自治体の事例も参考にして、徘徊高齢者等に対する支援制度が有効に機能する制度について検討したい。

**議員** GPS機器を活用した搜索・見守りに関して、障がい児のいる家族等も補助対象とし、機器貸与等を検討すべきと考えるがどうか。

**健康福祉部長** 現在の制度は介護保険制度を活用しており、障害児の方も対象とするには、新たな枠組みの制度が必要である。GPS機器を持ってもらえるかなど、障害児の特性を踏まえ、課題や効果などの調査研究を行う。

**議員** 早く見つけることが大切である。GPS機器を使った搜索機能強化は、命を守る重要な支援である。積極的に取り組むよう要望する。



靴の中に装着したGPS機器（高崎市役所提供）

※ 全地球測位システム。人工衛星を利用して自分が地球上のどこにいるのかを正確に割り出すシステム。

## 動物愛護

### 動物と共生できる社会の実現に向けて



公明党  
荒木 美幸

**議員** 市民から受ける相談の中には、猫に関する悩みが多くあり、本市としても動物との共生に向けて真剣に取り組むを進めるべきだと考える。全国的にも、野良猫を適正に管理し、殺処分を減らす地域猫活動（※1）が広がっており、TNR活動（※2）など地域住民に理解を求める啓発活動が行われている。本市においても、地域や市民団体と連携、協力して地域猫活動のような仕組み作りを進めるべきではないか。

**健康福祉部長** TNR活動は、地域の理解と協力が必要であり非常にハードルが高いが、野良猫対策として有効な手段である。近隣自治体や地元獣医師、動物愛護団体の意見を聴きながら実施の可能性を探るとともに、これまでの事

例を参考に研究を進めていきたい。

**議員** 住民主体の活動の一方で、自治体によるルール作りも必要である。他自治体では、野良猫への無秩序な餌やりの禁止や地域猫活動に関する規定を盛り込んだ条例の制定の動きもある。ルール作りについて、本市の考えはどうか。

**健康福祉部長** 本市としては、まず個別に適切な啓発および指導をすることが必要と考えており、現在、条例制定の検討は行っていないが、他自治体の条例の運用状況や施策を十分に研究していく必要があると考える。

**議員** 規制を含めたルール作りには、時間を要すると考えるが、市民が困っているという現状を直視し、実効性のある取り組みを求める。

※1 地域の理解と協力を得て、特定の飼い主のいない猫の餌や糞尿の管理および避妊・去勢手術など適切な飼育管理を地域で行う活動  
※2 トラップ（捕獲する）、ニューター（避妊・去勢する）、リターン（元の場所へ戻す）を行う活動



## 生活環境

## 条例を制定しごみ屋敷問題を解決せよ



公明党  
樋口 博己

**議員** ごみ屋敷が地域で大きな問題になっている。本市における対応はどうか。

**環境部長** 近隣住民から、景観の悪化、生ごみ等の悪臭、放火による火災の心配などの相談がある。ごみを処理するよう法令に基づき指導しているが、行政が民有地のごみを撤去できる規定がないため、粘り強く指導している。

**健康福祉部長** ごみ屋敷の当事者の生活改善、健康維持の観点で自治会等からの相談に対応している。現状や経緯を把握し原因を探る中で、一緒に解決策を考えていく支援を行っている。

**議員** 当事者個人では解決できない課題に対して福祉からのアプローチができればよいが、収入もあり健康な方については福祉面からの関

※ 行為者に代わり地方公共団体等の行政庁が強制執行すること。費用を行為者から徴収することができる

わりが難しい。個人情報を活用した調査・指導、関係者会議の開催、ごみ撤去の経済的支援、最終的に行政代執行(※)などを行うため、ごみ屋敷対策条例制定が必要であると考えているがどうか。

**環境部長** 条例に行政代執行を規定することでごみの強制撤去ができるが、支払い能力がない場合は個人のごみを税金で処分することに賛否があるなど課題もある。関係部局と連携を図り粘り強く対応し、他市の条例も研究していく。

**健康福祉部長** 全庁的な取り組みの中で、環境部と健康福祉部を中心に取り組んでいきたい。

**議員** 大阪市では条例制定により、ごみ屋敷が減少している。当事者が抱える問題解決を目指し、条例制定も見据えた取り組みを要望する。

## 家庭教育

## 心豊かな四日市人の育成を目指せ



友友クラブ  
中村 久雄

**議員** 四日市市教育大綱の理念では学校教育と家庭教育の連携が示されている。子育て環境の整備が進み、社会で子どもを育てるという機運が高まっている今の時代こそ家庭教育との連携が必要である。また、我が国が誇る文化として道徳があるが、道徳や人権教育を中心とした家庭との連携に取り組むことも必要である。例えば、生徒が毎年書いている人権作文には優秀なものがあり、PTA総会の場で生徒が作文を朗読することで、保護者に感動を与えると考えるが、このような取り組みは予算を使わずに実施できることである。そして、家庭教育との連携のためには、学校での取り組みを家庭に紹介し、学校で自分の子どもがどのような教育を受

けているのかを知った上で、家庭で何ができるのか考えることが必要であると思うがどうか。

**教育長** 子どもたちが、基本的な生活習慣を身に付けることや社会のルールやマナーを学ぶことなど、教育における家庭の役割は重要である。家庭との連携は優先度の高い取り組みとして位置付けており、各学校での取り組みを、学校だよりやホームページなどで積極的に情報発信し、家庭での取り組みに生かしている。今後も、PTA総会や学校公開など保護者が集う機会を活用し、家庭の教育力向上を支援する取り組みを進めていきたい。

**議員** 子育て支援が充実しつつある今こそ、家庭教育を大切に作る働きかけが大事である。

## 福祉

## 移送費の給付制度を活用し民間救急を普及せよ



友友クラブ  
伊藤 嗣也

**議員** 8分消防5分救急の実現には、1分1秒の緊急を要しない場合は、民間救急(※1)の活用を誘導し、救急車を真に必要な方に対応できるようにすべきである。国民健康保険の移送費(※2)の給付制度は、平成7年度から20年で本市では2例しかなく、市民や医療関係者に周知されていないのが民間救急が普及しなかった大きな原因である。移送費の給付請求の申請様式を定めていないのも問題と考えるがどうか。

**健康福祉部長** 審査支払機関の三重県国民健康保険団体連合会から、従来の療養費支給申請の様式で問題ないと確認したため、これまでで用している。しかし、市民により制度を理解してもらうため、専用の申請様式を整えることが

望ましいと考える。そのため、速やかに申請様式の準備を行い、ホームページ等で周知を図る。

**議員** 移送費の給付要件には、緊急その他やむを得ないことと書いてある。その他やむを得ないこととは、必ずしも給付要件として緊急性を必要としないと考える。本市の考えはどうか。

**健康福祉部長** 移送費に関する国の制度概要には、通院などの一時的、緊急的とは認められない場合は給付対象とならないと示されており、その見解について尊重していきたい。

**議員** 給付を決めるのは保険者たる四日市市である。市長の考えはどうか。

**市長** 議員の指摘を踏まえ、三重県国民健康保険団体連合会と意見交換したいと考える。

※1 救急車を利用するほどでもないが、自分や家族では入退院等できない方が利用できる患者搬送事業者

※2 医師の判断で緊急の移送をした場合にその費用を申請でき、国民健康保険が認めるときに支給される

## 十四川水害訴訟

## 河川工学では樋門を開けば十四川は溢れなかった



政友クラブ  
小川 政人

**議員** 平成15年12月定例会の塚田答弁では、JR関西線から上流部にあるネック箇所では25トン流れません。そこから下流には、そのネック箇所を流れる水の量しか豊栄ポンプ場の方には流れない。ネック箇所からそのまま流れていく水は、豊栄樋門を開けておけば十四川は溢れない。

**都市整備部長** 河川工学では、そのとおりであるが、平成12年9月11日の東海豪雨の際には想定以上の雨が降ったことを考慮すべきである。

**議員** 河川工学で結論がでているのに覆すな。確かに北消防署では120mmの雨が記録をされているが、当時の塚田答弁にもあるように、ネック箇所2年確率の計画では9.8トンかな。最大

で16トンくらいだが、そこで溢れないんだからそんなに雨は降っていない。

**都市整備部長** 平成15年12月に都市整備部長が、四日市高校付近で水が溢れなかったと答弁したが、実際は定かではなく、私はよく分からないと思っている。

**議員** 分からない事を言うな。溢れた水は堤防からこぼれ、最大16トン以上の水は川では流れていかない。降った雨ではなく、ネック箇所を通過できた水しかポンプ場には流れていかないと考える。

**都市整備部長** 答えに行き詰っているが、確かにネック箇所を通過した水が下流に流れていきます。

## スポーツ振興

## スポーツ振興の取り組みを推進せよ



新風創志会  
三木 隆

**議員** 平成30年の全国高校総体、平成33年の国民体育大会には、今の小・中学生から選手としての参加資格がある。そこで、全国体力・運動能力、運動習慣等調査（以下、調査）における本市と県平均・全国平均との比較および体力向上に向けた本市の取り組みはどうか。

**教育長** 昨年度の調査で、本市の中学生女子は、県平均より高く全国平均並み、中学生男子・小学生男女は、県および全国平均より低いという結果であった。四日市市運動能力・体力向上推進委員会（以下、委員会）（※1）が作成した授業導入段階に行う「5分間運動」を各小・中学校で実施しており、今後も各校での取り組みを進めるとともに、委員会で議論を行い、

※1 市の児童生徒の現状を把握し、体力の向上を図るため平成23年度に設立された組織。

※2 保護者・地域住民が学校づくりに主体的に参画し、地域とともにある学校の実現を目指す仕組み

校長会議や担当者研修会等の機会に効果的な取り組みを発信していく。

**議員** スポーツ振興において、地域との連携および指導者等の交流が不足していると考えますが、本市における現状と今後の展望はどうか。

**教育長** 地域とともに歩む学校を目指し、四日市版コミュニティスクール（※2）として、小・中学校合わせて20校を指定している。地域住民に運動部活動、体育行事等に協力してもらうことで、地域との連帯感や世代を超えた交流が生まれ、地域を挙げたスポーツ振興につながると考えており、今後も取り組みを拡大したい。

**議員** これからのスポーツ振興は、地域との連携が重要である。取り組みの推進を要望する。

## 教育

## 小・中学校教育の財政、施設、人材面の現状を問う



新風創志会  
荻須 智之

**議員** 教育予算は平成19年度から減っており、学校現場での予算の充足感が乏しいと感じるが必要十分なのか。来年度からは、各学校からの予算要求を積み上げる形式とする目的は何か。

**教育長** 学校現場の声が反映され、各学校の状況に即した予算配分につながるとともに、予算要求に対する学校の意識改革も進むと考える。

**議員** 老朽化、陳腐化した学校の施設面の諸問題をどのように把握、整理しているのか。

**教育長** 平成23年度から32年度までの10年間の学校施設整備計画を定め、中長期的な視野で計画的かつ効率的に取り組んでいる。

**議員** 親の所得格差が学習機会の格差となるなか、少人数学級、英語指導員の成果はどうか。

**教育長** 市独自の教員加配により、児童生徒が落ち着いた学校生活を送れ、中学校卒業時には全国平均水準の学力に達している。英語の学力は、ロングビーチ市からの英語指導員の質も高く、英語担当教員との指導の手法が積み上げられていることもあり全国平均を上回っている。

**議員** コミュニティスクールでの学習ボランティアなどの地域人材の活用の後はどうか。

**教育長** 地域人材の活用を広げ、地域と学校をつなぐさらなる人材発掘や有効活用を進める。

**議員** スクールソーシャルワーカー（※）などの学校現場からの要請状況はどうか。

**教育長** 学校からの派遣要請は多く、人材確保と勤務時間数の拡充に努める。

※ 家庭や行政、福祉関係機関などと連携して、子どもを取り巻く環境を福祉的な側面から解決を支援する専門職



## 危機管理

## 備えよ！常に！「食料・水・トイレ」



政友クラブ  
森 康哲

**議員** 東海・東南海・南海沖の三連動の大地震がいつ起きてもおかしくないという現状において、常に備えるという観点が必要である。本市の指定避難所の数と食料の備蓄状況はどうか。

**危機管理監** 本市には、指定避難所が118カ所あり、想定収容人数は約3万人となっている。また、防災倉庫に約14万8千食を備蓄しており、今後、県の想定避難者数をもとに、他の備蓄と合わせて、約3日分の食料を確保していきたい。

**議員** 備蓄食料であるアルファ米の利用には水が必要であるが、飲料水の備蓄はあるのか。

**危機管理監** 飲料水は、応急給水活動により避難所等へ給水を行うこととしており、現状として備蓄は行っていないが、アルファ米の利用のための水を備蓄するよう配備予定である。

**議員** 避難所生活においては、常にトイレが課題となるが、本市の対応はどうか。

**危機管理監** 防災倉庫に便座と処理袋がセットになった携帯型トイレを備蓄しており、設置可能な避難所にはマンホールトイレ（※）の備

※ 下水道マンホールの直上に便座および仕切り施設等の上部構造物を設置して利用する簡易トイレ

蓄も行う。また、事業者等と仮設トイレの設置協定も締結している。長期にわたる避難所生活を想定して、今後もさまざまな方法を考えたい。

**議員** 大地震発生時、本市の沿岸部が液状化し、道路や浄化センターなどの施設が機能しないことも想定して、コミュニティ・プラント、農業集落排水施設を補完施設として活用できるように備えることを強く要望する。



大地震発生時の施設の有効活用が求められる

## 安全対策

## 防犯カメラを設置し子どもたちを危険から守れ



新風創志会  
石川 善己

**議員** 平成27年夏、大阪府寝屋川市で2人の中学1年生の生徒が殺害されるという痛ましい事件が起こった。子どもたちが犯罪等の被害に遭わないためには、自分の身を守るためにはどうすれば良いのかという点を啓発することが大切であると考えますが、本市の取り組みはどうか。

**教育長** 実際の場面を想定した実践的な訓練を通し、子どもたちが自ら学び、自ら考え、自ら行動する安全教育を推進している。

**議員** 寝屋川市の事件では、犯行時間の絞り込みや容疑車両の特定などに防犯カメラが役立ったが、防犯カメラを今後どのように使いこなすのが課題であると考えます。本市では、地域のどこに設置するのかを自治会で検討し市が補助をする形で行われたが、もう一度教育委員会と各学校とで、防犯カメラの設置の在り方と、通学路や繁華街など設置が必要であると考えた場所を検討し、取り組むことはできないか。

**教育長** 防犯カメラの設置は、犯罪が起きにくい環境への有効な手段の一つと考える。四日

市市防犯カメラ設置及び運用に関する条例が施行され、市民により通学路や通学路に準ずる場所に22台の整備が進められている。条例や補助制度を各学校やPTAに周知し、より安全な通学路となるよう働きかけていきたい。

**議員** 防犯カメラは未然の抑止力となり効果は大きい。子どもたちの安全のため、危険箇所の洗い出しと設置の検討を行うことを要望する。



通学路や繁華街などへの防犯カメラ設置が求められる



## マイナンバー制度

# マイナンバー制度活用で市民サービスの向上を図れ



新風創志会  
谷口 周司

**議員** 平成28年1月から運用開始となるマイナンバー制度は、所得や他の行政サービスの受給状況の把握が容易になることで、負担を不当に免れることや不正な給付の防止などの効果が期待される。マイナンバー制度導入により、市民や自治体にはどのようなメリットがあるのか。

**総務部長** 雇用保険の資格取得や児童手当申請時の提出書類が削減されるなど、行政手続きが簡素化される。行政事務においては、今後各機関との情報の連携や複数業務間で個人の特定が迅速にできることで、確認作業に要する手間や時間の縮小など、事務効率の向上が図られる。

**議員** マイナンバー制度は、個人番号カードに搭載されているICチップの空き容量を市独

自で使用できる。市民が利便性の向上を実感するには、市独自の利用が重要と考えるがどうか。

**総務部長** 個人番号カードは条例等で定めることで、ICチップの空き容量の独自利用が可能となる。個人番号カードの紛失など課題もあるが、利用範囲を広め利用価値を高めることは重要であるため、今後さらに研究していきたい。

**議員** 個人番号カード普及、市民の利便性の向上、行政事務の効率化の観点から、証明書等のコンビニ交付サービス（以下、コンビニ交付）を本市においても実施してはどうか。

**市民文化部長** コンビニ交付については、現状の窓口サービス体制を踏まえ、個人番号カードの普及・運用状況等をよく見極めていきたい。

## 都市政策

# 四日市市の未来を創造する戦略構築を



新風創志会  
豊田 政典

**議員** 今後、あらゆる面での都市間競争がさらに激化すると考える。競争を勝ち抜くための基本情報として、市外の方が持つ本市の都市イメージの把握と、戦略的な発信が必要と考えるが、認識はどうか。

**政策推進部長** 四日市公害のイメージがいまだに残っている。環境改善された本市の現状を広くPRするため、情報発信やシティプロモーションに力を入れていく必要がある。

**議員** イメージ把握、戦略的な市外発信共に現状では不十分と受け止める。では、今後、本市はこの先どんなまちを目指すのか、簡潔に。

**政策推進部長** 地方創生に向けて、本市の強みである産業集積や都市の魅力を活用し、交流

人口、定住人口の増加を目指す。

**議員** 人口増のためには、明確な魅力発信が必要であるが、現在の取り組み体制ではあまりに弱いと感じる。大手広告代理店や民間企業・有識者のノウハウを活用した専門部署の強化充実が必要であると考えがどうか。

**藤井副市長** 特定の部局が企画するのではなく、各部局が常に頭を使って行動し、市民ニーズを把握しながら全庁的に取り組んでいきたい。

**議員** 真の都市戦略構想の立案実行のため、今後、市の上層部の意識を変革して、強力な体制を構築するよう強く要望する。

## 中学校移転

# (仮称) 大矢知中学校はどうか



市民会議  
三平 一良

**議員** 平成25年3月に(仮称)大矢知中学校新設事業の予算案が否決され、その後、平成26年度の1年をかけ、市域全体を対象として適正な教育環境の確保に資するための教育環境課題調査検討事業（以下、課題調査）を実施した。大矢知興讓小学校区における調査事業の結果および今後の具体的な対応はどうか。

**教育長** 課題調査において、人口増減や宅地開発の有無など各学区の特性に応じた人口推計を行い、児童・生徒数推計の精度を高めるため、検証を行った。その結果、大矢知興讓小学校区を検討対象校区の一つとして抽出し、大矢知地区の教育環境課題の解決に向けて、中学校立地にかかる手法や小学校および中学校の施設

不足への対応を検討している。中学校の立地手法については、朝明中学校とは別に(仮称)大矢知中学校を新設する「分離新設」に加え、朝明中学校を移転し建て替える「移転建替」を検討している。今年度の課題調査で、それぞれの手法を比較検討し、立地手法の選定を行った上で、平成28年1月には、市としての対応策を決定する予定である。

**議員** 朝明中学校の「移転建替」と理解した。「分離新設」からの方針変更は、関係する小学校および中学校の児童・生徒へ大きな影響を及ぼすと考える。子どもたちが安心できる学校づくり、真に子どもたちのためになる学校づくりに向けた取り組みを推進するよう強く要望する。

## ふるさと納税

## 本市からの資金流出を食い止める

リベラル21  
森 智広

**議員** 現在ふるさと納税制度（※）において、本市から他市に寄附金が流れている。平成26年度の四日市市ふるさと応援寄附金が600万円程度であったのに対し、今年度の個人住民税の税額控除は2400万円を超えており、約1800万円が他市に流出していると推測される。国はふるさと納税の拡大を推進しており、今後も規模の拡大が予想される。本市からこれ以上の資金流出を防ぐため、攻めの施策が必要である。例えば、あすなろう鉄道の基金への積み立てなど、寄附金が使われる施策の明確化により、寄附をする側の意欲も高まると考える。現在の返礼品に加え、本市の地場産品を積極的に公募し、魅力的な返礼品を多く揃えることも必要ではないか。

**財政経営部長** 本市としては、自治体を実施する事業等を応援するという制度本来の目的を念頭に置くが、市の特産品を返礼品とすることで、販売促進など地場産業の活性化も期待できる。今年度より商工農水部と協議を行うとともに他市の事例を調査しており、返礼品の品揃え

を増やしたいと考えている。また、現在ホームページなどの広報媒体で、総合計画の五つの基本目標に沿った取り組みを紹介し、賛同してもらえる方からの寄附を求めているが、今後、庁内関係部局と調整して具体的な事業を紹介するようホームページを改良していきたい。

**議員** 自治体間競争を勝ち抜くため、財源確保に向けた取り組みを進めてほしい。



ふるさと納税の寄附金額に応じてお贈りする品物

※ 自治体に寄附を行った場合、寄附額のうち2千円を超える部分について、一定の上限まで所得税・個人住民税から控除される制度

## 自然環境

## 四郷風致地区に対する積極的な対策を実施せよ

日本共産党  
太田 紀子

**議員** 四郷風致地区は、地域住民やボランティアの協力により保全されてきたが、竹類などの拡大で荒廃が進んでいる。私有地という問題もあるが、市の積極的な対策が必要と考える。

**都市整備部長** 風致地区内の私有地の維持管理は所有者の責任で行う必要があるが、NPO等の里山保全活動等への支援が必要と考える。

**議員** 市民緑地制度（※1）があるが、四郷風致地区内で実際に活用されているのか。

**都市整備部長** 八王子町の吉田神社周辺の民有地を市が借り受け、平成19年11月から、八王子秋の小径市民緑地として市民に公開している。

**議員** 四郷風致地区は、自然環境だけでなく市や県の指定文化財もあるが、PRが不足しており市民に周知されていないと考えるがどうか。

**都市整備部長** 現在、市のホームページで紹介、案内マップの掲示を行っているが、より多くの市民の方が訪れ、自然に親しんでもらえるよう案内・PRの手法を検討していく。

**議員** 四郷地区では、自治会費で地域の紹介

パンフレットを作成している。地域の紹介パンフレット作成に対する支援はできないのか。

**市民文化部長** 地域社会づくり総合事業費補助金（※2）の活用や地域課題に効果的に対応するための地区市民センター館長の権限で使える予算により対応することができると考える。

**議員** 未来に自然を残すために、市としてできる限りの支援をするよう強く要望する。



四郷風致地区の風景（春の丘の桜）

※1 里山などの緑地の維持管理を地域の管理団体に委託し、市民の憩いの場とする

※2 地域で取り組む地域社会づくりの総合的な支援を行うための事業



## 市立病院

# 市民に信頼されるひらかれた市立病院を目指せ



リベラル21  
藤田 真信

**議員** 病院経営は、住民や患者の声を反映させることが重要である。平成27年11月に市立四日市病院（以下、市立病院）と住民とインフォームド・コンセント（※1）の対応などの意見交換が行われたが、市立病院の総括はどうか。

**病院事業副管理者** 医療や病院の状況を理解してもらおう機会になったと考えている。

**議員** 現在、全国の病院で医療メディエーター（※2）が配置され始めている。市立病院においても、医療メディエーターを早期に配置すべきと考えるがどうか。

**病院事業副管理者** 配置は考えていないが、看護師などが医療メディエーターの認定の為に養成講座を受講中であり、今後、全職員を対象

※1 治療法などで、医師から十分な説明を受け、患者が正しく理解し納得して同意すること

※2 患者と医療者間の対話の促進を通じて、両者の良好な関係を構築していく役割を担う仲介役

に研修会を開催するなど育成に注力していきたい。

**議員** ドクターや看護師など医療従事者が医療行為に集中できる環境を整備し、患者に対しさらに安全で安心な医療を提供していく為にも、医療安全管理室を設置すべきと考えるがどうか。

**病院事業副管理者** 医療の質・医療安全管理室を設置し、医師などの医療技術者や事務局職員が兼務して医療安全管理に取り組んでいる。

**議員** 兼務ではない、医療安全管理専門の人員を配置すべきである。

ひらかれた病院についての市長の考えはどうか。

**市長** 市民に信頼され、開かれた病院でなければならないという点で病院事業管理者と認識は一致しているが、改めて確認していく。

## 自転車施策

# 自転車レーンを整備し自転車交通を促進せよ



リベラル21  
森川 慎

**議員** 四日市市総合計画の重点施策に自転車レーン整備の取り組みが示されているが、自転車に配慮した道路整備がなされているとは思えない。自転車交通に対する本市の考えはどうか。

**都市整備部長** 自転車交通については、安全で安心して通行できる道路空間を創出することを目的に自転車ネットワーク計画を平成24年度に策定し、自転車レーンの整備に着手している。

**議員** 自転車の利用促進には、途切れのないネットワークとして、また自転車利用者や歩行者の安全確保のためにも、自転車レーンの整備を着実に進めることが重要と考える。今後の整備方針や具体的なスケジュールはどうか。

**都市整備部長** 本市の自転車レーンは、主な

居住地域、公共施設、駅や観光資源などを結ぶ路線を選定し整備している。途切れのないネットワークを実現するため、まずは着手した路線の完成を目標として取り組む。今後の整備路線は、整備済の自転車レーンの利用状況や利用者の声も参考にし、より効果的な整備を検討する。

**議員** 現在整備されている自転車レーンの大部分が中心市街地に限られている。通勤者への利用促進は、渋滞緩和策としても期待できるため、自転車レーン整備を郊外へ延伸する必要があると考えるがどうか。

**都市整備部長** 広域的なネットワークへの要望も認識している。今後、市街地から郊外への将来的な姿も見据えながら取り組んでいきたい。

## 生活困窮者対策

# 貧困の連鎖を断ち切れ



リベラル21  
村山 繁生

**議員** 生活保護受給者が増加し、生活保護に至らない生活困窮者も増加しているなか、特に危惧される子どもの貧困に対する認識はどうか。

**教育長** 生まれ育った環境によって子どもの将来が左右されることがあってはならない。意欲のある全ての子どもたちに学習の機会が確保され、努力すれば自分の道を切り開いていける教育環境の整備が重要であると考えている。

**議員** 生活困窮者自立支援法の中に子どもの学習支援事業がある。本市の取り組みはどうか。

**健康福祉部長** 今年度から、本人が希望する職業に就くために必要な学力を身に付け、将来の自立した生活を確保するための事業を開始した。今後は、今年度の事業成果を検証しつつ、

実施方法や対象者について検討していきたい。

**議員** 子どもの貧困は人権の剥奪と言わざるを得ない。支援体制の確立のためには、庁内が連携して、組織として総合的に包括的な支援が必要である。100人のニーズがあれば100通りの支援が必要である。子どもの貧困の解消に向け、全庁的に、オール四日市として総合支援策に取り組む必要があると考えるがどうか。

**市長** 全国市長会において、私は座長として子どもの貧困対策は基本的には国が責任を持ち取り組むべきだと提言したが、本市の実情を踏まえ、必要な支援策を確実に実施していきたい。

**議員** 貧困が世代を超えて連鎖しないよう、全ての子どもが夢と希望を持てる施策を強く望む。



## 財 政

## 企業会計の資金運用を有効に活用せよ

リベラル21  
樋口 龍馬

**議員** 企業会計の資金運用について、多額の借入金利を払い続けている他会計への貸し付けを調査研究すべきと監査報告で指摘がある。企業会計から他会計への貸し付け自体に違法性はないのか。また、貸し付け条件はどうか。

**財政経営部長** 企業会計からの貸し付けは、特別な制限はない。貸し付けを行うには、貸付資金の確保、適正な金利の設定、予算の議決、契約の締結の4条件が整う必要がある。

**議員** 企業会計では、保有している資金の運用を一定時期で見直しているため、市が資金調達したいタイミングと合えば、他者を介することなく双方に有利な条件で契約を進められる可能性があると考えがどうか。

**財政経営部長** 企業会計は、企業債を毎年発行し長期の資金調達を行っており、一般会計に貸し付けを行う状況ではないが、市全体では外部からの借り入れが減り、償還利子を支払わずに済む。今後、関係部局による検討会で、他会計への貸し付け等の考え方を整理していく。

**議員** 企業会計の資金は運用益を得るためのものではなく、上下水道局や市立病院は資金運用するための団体ではない。多額の資金を保有するのではなく、最低限の維持が望ましい。自治体間競争に勝ち残るためにもリスクマネジメントを進化させて、市全体としてできることは全て検討し、どれだけのメリットが得られるのかを考え取り組むことを強く要望する。

## 幼 稚 園

## 本市における公立幼稚園のあり方を問う

リベラル21  
竹野 兼主

**議員** 本市の公立幼稚園の園児数低下が危惧されるが、貧富の差が広がっている格差社会が進むなか、公立幼稚園の役割も重要であると考え。園児が減少する理由の分析は行っているのか、また問題解決の方法は検討したのか。

**こども未来部長** 低年齢児からの保育ニーズの高まりや、私立幼稚園での保育時間の延長などが入園児数の減少理由だと考える。公立幼稚園では、特に児童の心身の発達に課題がある場合、あるいは、児童虐待や生活困窮など特別な支援が必要な園児の家庭支援を含めて、個々の事情を勘案した対応が重要だと考えている。今後も、その充実に努めていきたい。

**議員** 幼児期にふさわしい教育環境の適正化

を図る具体的な対応策として、公立幼稚園の認定こども園化を図ることは、保育の充実・増強にもつながると考える。認定こども園化を図るメリットにはどのようなものがあるのか。

**こども未来部長** 子どもたちに安定した環境で就学前教育・保育を提供できるとともに、地域における子育て支援機能が必須であることから、地域の子育て家庭を支えていく活動をより一層充実していくことができると考えている。

**議員** 地域で子どもを育てるという点でも、認定こども園化はメリットがあると考え。これからの本市を支えていく子どもたちの教育環境が向上することが重要であり、認定こども園事業をしっかりと進めることを要望する。

## 食 育

## 中学校給食～全員給食を目指して～

日本共産党  
豊田 祥司

**議員** 本市の中学校のデリバリー給食について、小学校給食と同様にアレルギー食物に対して除去食の提供が必要であると考えがどうか。

**教育長** デリバリー給食は、衛生面や作業効率から特別な対応が難しい。食物アレルギー対応については、給食調理方式の選定にも影響することから、重要検討項目としていきたい。

**議員** デリバリー給食は喫食率が低下しており、保護者や生徒の支持が得られていないと感じる。本市で全員給食を実現するためには、自校調理方式(※1)などを導入するための整備が必要である。すでにセンター方式(※2)の給食を導入している他市と財政力指数を比較すると、本市でも財政的に可能であると考えがどうか。

**教育長** 自校調理方式等の導入には、調理施設の建設、中学校の配膳室やリフトの整備に加えて、光熱水費や人件費などのランニングコストも必要となる。今後中学校給食検討会において給食調理方式の分析を行い、費用についても算出し検討していきたい。

**議員** デリバリー給食の改善の必要性について市長の考えはどうか。

**市長** デリバリー給食はまだ改善の余地がある。並行して中学校給食のよりよいあり方についてもあらゆる方式を排除することなく、十分に検討する必要がある。中学校給食検討会の報告を受けて、最終的に判断していきたい。

**議員** 全員給食が実現することを強く望む。

※1 各学校が調理室を学校内に配置し、生徒、児童に給食を提供するシステム

※2 集中調理施設を設け、複数の学校給食を一括して調理し各学校に配送するシステム

マイナンバー制度

見切り発車のマイナンバー制度を問う



日本共産党  
加藤 清助

**議員** 市民が窓口で住民票などの交付申請の際、マイナンバー運用開始後、マイナンバーが必要となるのはどのようなものがあるのか。

**総務部長** 社会保障や税の分野のうち、法律や条例で定められた約200の申請に必要となる。

**議員** 児童手当や生活保護などの申請に、マイナンバーの記入が必要になるとのことだが、記入が無いと申請が受理されないということか。

**総務部長** マイナンバー導入後は、記載が必要な申請は基本的に記載の必要がある。記載が無い場合は、法律の規定に基づき関係機関からマイナンバーを含む情報提供が受けられる等の規定がある。制度を説明の上できる限り記載をお願いするが、受理しないということではない。

※ 国または都道府県が、法令により、自治体に処理を委託する事務

**議員** 国民に番号を付けて個人情報を収集し、行政一般に利用するのは問題と考えるがどうか。

**総務部長** マイナンバーは、社会保障・税制度の効率性と透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平で公正な社会を実現するための社会基盤となるものとして導入されているものである。適切な取り扱いはもとより、制度を正しく市民へ説明、案内すべきものと考えている。

**議員** 市民へ適切な説明を行うことが、マイナンバーの法定受託事務(※)を担う本市の責務である。今後運転免許証を組み込む案などが検討されており、便利になると思われるが、マイナンバーにひも付ける領域が増えれば危険性も増えるため安易に領域を拡大すべきではない。

一般質問をした議員と項目

(質問順)

- 荒木 美幸 ◆動物との共生に向けたマナー等について(猫に関する苦情の現状と対応状況、野良猫の適正管理、“地域猫”活動、他自治体の取り組みから、殺処分ゼロを目指して)
- 山口 智也 ◆徘徊高齢者等に対する捜索機能強化について ◆石碑等に関する安全対策について
- 樋口 博己 ◆市民の住生活環境の改善と充実について(ごみ屋敷への取り組み、土地の境界線を決める地籍調査) ◆観光及びシティープロモーションについて
- 中村 久雄 ◆四日市市教育大綱策定！四日市の教育はどう変わる！(地方教育行政法の改正が四日市にもたらすものは？、四日市市教育大綱について、第3次四日市市教育ビジョンにどう反映するのか？また、アクションプランとの関係は？、学校教育と家庭教育の連携、四日市への愛着と誇りを育むために！)
- 森 康哲 ◆「そなえよ！常に！」大規模災害時、本市の指定避難所は大丈夫なのか？(食料、水、トイレ)
- 伊藤 嗣也 ◆教育は生涯を通じた人づくり～四日市市教育大綱に社会教育が記されていないのは、なぜか～ ◆市民の健康と命を守るために、なすべきこと、なすべきでないこと(民間救急の活用と移送費・在宅医療の問題、ラジオ体操の活用と四日市市独自の健康体操の問題)
- 小川 政人 ◆十四川水害被害問題で公務員の説明責任を果たさず、部下や学問を裏切り市民を偽り続けた塚田博上下水道事業管理者を副市長に選任した田中市長の判断力？
- 石川 善己 ◆子どもたちの安全の為に ◆有害鳥獣対策～サルのは ◆東橋北小学校後活用から考える、幼稚園・保育園のあり方
- 三木 隆 ◆スポーツ振興について、市の対応を問う(小・中学校の体力測定結果を受けての対応、体育の授業のカリキュラムの見直し等の対応、中学校の体育祭及び各種大会の開催が何故平日か、総体・国体・オリンピックに向けた選手・指導者・審判等の育成の対応)
- 荻須 智之 ◆小・中学校の財政、施設、人材面における現状を問う
- 谷口 周司 ◆費用対効果から考えるマイナンバー制度(制度に対する本市の取り組み、コンビニ交付の実現) ◆伊勢志摩サミットについて
- 豊田 政典 ◆「四日市市の現在地と未来」(偉大なる先達の取り組み、四日市市の現在地 ～全国ランキングと“外部視点”から、未来への政策構築 一とりわけ対外戦略)
- 三平 一平 ◆(仮称)大矢知中学校について ◆道路網整備による、リニア中央新幹線の間駅を四日市に ◆四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 藤田 真信 ◆市民に信頼される、ひらかれた市立病院を目指して(市民や患者の意見を病院経営に活かす！、メディエーション体制の早期整備を！、医療安全管理室の早期新設を！)
- 森川 慎 ◆自転車施策について
- 村山 繁生 ◆生活困窮者支援対策、そして子供の貧困という負の連鎖を断ち切る為に四日市市の施策は？
- 森 智広 ◆攻めのふるさと納税を～税金の流出を防ぐ～ ◆不登校児童生徒への支援体制について ◆公会計改革が行財政改革を押し進める(人件費管理がコスト意識を変える、部門別、事業別財務諸表の作成が人事評価システムを変える、東京都モデルが公会計を変える)
- 樋口 龍馬 ◆四日市も資金運用を見直す時代到来！ ◆公園にいこう！って言える魅力ある公園づくり(草ぼうぼうの近所の公園をなんとかしよう、大きな公園を魅力いっぱいレジャー空間に)

- 竹野 兼主 ◆全国ファミリー音楽コンクールinよっかいちの未来について ◆プラネタリウムについて パート2  
◆公立幼稚園の役割と未来について ◆癌検診 その後の状況について
- 太田 紀子 ◆四郷風致地区の整備と活用について
- 豊田 祥司 ◆中学校給食（全員給食を目指して）について
- 加藤 清助 ◆見切り発車のマイナンバー・住民のくらしと行政

## 平成28年度市議会モニターを公募します

四日市市議会では、議会の運営等に関し、市民からの要望・提言・その他の意見を広く聴取し、議会運営等に反映させるため、「市議会モニター制度」を実施しています。従来の地区等の推薦に加えて、より広く市内全域から議会に対するご意見をお聴きするため公募を行います。

### 【市議会モニターの仕事】

- (1) 本会議や委員会等を可能な限り傍聴・視聴し、意見・提言を提出すること
- (2) 研修会や意見交換会に出席し、意見を述べること
- (3) 議会運営に関する意見を議長に提出すること
- (4) 議長が依頼するアンケートへ回答すること
- (5) その他、議長が依頼する内容について意見を提出すること

【募集人数】 10人程度

### 【資格】

満18歳以上の市内在住者（ただし、公務員、各議会議員、市の行政委員は除く）で、市議会の仕組み・運営や、市政・地域社会の発展に関心がある人。

### 【説明会】

平成28年4月15日（金）10時から総合会館7階第2研修室で、市議会モニター制度についての説明会を開催します。関心のある方はぜひご参加ください。

### 【選考方法】

年齢・性別・居住地等に著しい偏りの生じないよう考慮します。

### 【任期】

1年。ただし、再任（1回）を可としています。

### 【応募方法】

住所・名前（ふりがな）・性別・年齢・生年月日（※）・電話番号・FAX番号（※）・PC用メールアドレス（※）・応募理由を記入の上、持参・郵便・FAX・メールのいずれかの方法で四日市市議会事務局へお申し込みください。様式は問いませんが、必要な方は市議会ホームページ、また、各地区市民センター等に応募用紙がありますのでご利用ください。

※ 任意の記入項目

【募集期間】 平成28年4月22日（金）まで（必着）。

【委嘱式】 平成28年5月下旬の予定です。

### 【その他】

特に報酬は支給しませんが、年度末に記念品をお渡ししています。

公募のほか各地区市民センターや四日市大学にも推薦を依頼しており、全体の定員は50人程度です。

## 2月定例月議会の議会報告会の予定

2月定例月議会の議会報告会を3月26日、28日、30日に開催します。（詳細は下記参照）。事前のお申し込みは不要ですので、参加を希望する会場にどうぞお気軽にお越しください。

※シティ・ミーティングのテーマが決定しましたら、市議会ホームページやチラシ等でお知らせいたします。

※頂戴するご意見は、口頭によるものを基本とします。

第1部：議会報告会		第2部：シティ・ミーティング（意見交換会）		
日時	平成28年3月26日（土）		平成28年3月28日（月）	平成28年3月30日（水）
	9：45～12：00	13：00～15：15	18：30～20：45	18：30～20：45
常任委員会	総務	都市・環境	産業生活	教育民生
会場	総合会館 7階第1研修室	小山田地区市民センター 2階大会議室	海蔵地区市民センター 2階中会議室	八郷地区市民センター 2階大会議室
	諏訪町2番2号	山田町1373番地3	大字東阿倉川622番地1	千代田町267番地1
所管事項	市政の企画、財務、 危機管理、消防など	道路、住宅、上下水道、 区画整理、環境衛生など	商工業、農林水産業、 市民文化、市立病院など	教育、子ども、 健康福祉など

※ 全会場、手話通訳いたします（事前予約は不要です）。 ※ 天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 総務常任委員会（総合会館）に参加ご希望で、お車でお越しになる方は、市営中央駐車場に駐車してください。



## 平成27年 8 月定例月議会の議会報告会の概要

平成27年 8 月定例月議会の議会報告会を、平成27年10月 8 日、9 日の 2 日に分け、常任委員会（総務、教育民生、産業生活、都市・環境）ごとに 4 会場で開催しました。

当日は第 1 部を議会報告会、第 2 部をシティ・ミーティング（意見交換会）として実施しました。議会報告会では、議員からの 8 月定例月議会での活動報告に対して質疑をいただき、また、シティ・ミーティングでは、常任委員会ごとに決められたテーマに関して意見をいただきました。そのほか、議会報告会のあり方についても多くの意見をいただきました。

いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動における一般質問や委員会での審査や、今後の議会報告会の開催に当たっての参考とさせていただきます。また、概要としてまとめたものを市議会ホームページに掲載しています。

日 時	平成27年10月 8 日(木) 18：30～20：45		平成27年10月 9 日(金) 18：30～20：45	
常 任 委 員 会	総 務	教 育 民 生	産 業 生 活	都 市 ・ 環 境
会 場	常磐地区市民センター 2階大会議室	日永地区市民センター 2階大会議室	総合会館 7階第1研修室	富洲原地区市民センター 2階大会議室
シティ・ ミーティング テーマ	○防災対策について	○スポーツ施設整備 について	○四日市市の産業振興 について	○ごみ・リサイクル等 について
参加人数	17人	22人	20人	47人

### ◆会場でいただいた意見・質疑（抜粋）

議会報告会、シティ・ミーティングでは、市民の方から議会報告に関することや、シティ・ミーティングのテーマに沿って自由にご意見をいただき、意見交換を行っています。各会場での主な意見交換の内容を要約してご紹介します。

#### 総務常任委員会

- ふるさと応援寄附金の使い道に四日市あすなろう鉄道を加えれば、鉄道ファンなどから多くの寄附金が集まるのではないかと。また、三岐鉄道北勢線とタイアップした切符や夜景クルーズの乗船券をお礼の品に加えてはどうか。  
⇒委員）四日市あすなろう鉄道など寄附金の使途を特定の事業とすることについて共感する。分科会審査において類似の質疑を行っており、国体関連の施設整備のために基金を設けるよう要望をしたところである。なお、四日市あすなろう鉄道については、内部・八王子線再生事業費寄附金という受け皿があるが、PR不足であると感じており、受け入れ拡大に向けたPR強化が必要だと考える。
- 先日の市民総ぐるみ総合防災訓練において、ろう者が2名参加していたが、市は手話通訳者を配置していなかった。たまたま参加者の中に手話ができる人が2名いて、対応してもらえたが、来年は手話通訳者を配置してほしい。  
⇒委員）市民総ぐるみ総合防災訓練に手話通訳者を配置するよう総務常任委員会として要望したい。

#### 教育民生常任委員会

- プラネタリウムの観覧料について、決算審査で議論があったとの説明であったが、議論の内容について確認したい。  
⇒委員）委員からは、利用状況を調査した上で、根拠のある適正な利用料を割り出す必要があるとの意見や、他の公共施設も含めて、全庁的な利用料の検討が必要であるとの意見があった。

- 先日、中央緑地へ行ったら、駐車場が満車で車を停めることができなかった。今後の施設整備にあたっては、駐車場の立体化など駐車台数を増やしてほしい。  
⇒委員) 平成27年8月の議員説明会において、中央緑地体育館の建て替え時の駐車場整備については、議員からも多くの意見や要望を担当部局に対して行ったところである。今回の施設整備は改善のチャンスであり、先を見据えた整備計画となるよう、議会として議論していきたい。
- テニス、サッカー、野球を行う施設は、現在でも市内に数多くあるが、他の競技を行う施設は非常に少ない。一部の種目に偏らない施設整備の考え方はないのか。  
⇒委員) 非常に遅れているスポーツ施設について、今回の国体開催を機に整備しようとするものであり、特定の競技種目に対して優先的に施設整備を行っている訳ではない。全ての市民がしたい時にしたいスポーツを楽しむことができる環境整備を進める考え方である。

## 産業生活常任委員会

- 少子高齢化の時代において、中心市街地の各エリアにおいて、具体的にどのように活性化に取り組んでいくのか。また、中心市街地活性化推進方策調査検討事業に係る検討会議については、学識経験者等のみではなく、長期にわたって本市に住んでいる人や本市に詳しい人の意見も取り入れながら進めてもらいたい。  
⇒委員) 全国的に中心市街地が衰退していく中、中心市街地に公立病院の薬をもらえる場所や、介護の相談ができる場所を立地させることで活性化に成功している事例もある。中心市街地は何のために、誰のためにあるべきかという視点を持って活性化に取り組む必要があると考える。この課題解決に向けては、有志の議員連盟を組織しており、市民の知恵も借りながら取り組みを強めていきたいと考えている。
- 防災やゴミ問題、高齢者の見守り等について、自治会の果たす役割は非常に大きいと考えるが、現状は、自治会加入率が伸び悩んでいる状況にある。原因については、集合住宅の加入率の低さもあると考えるが、現状をどのように改善していくのか。  
⇒委員) 自治会加入率の伸び悩みについては、住民が加入に対するメリットを享受できていないということが一つの原因であると考えているが、詳細な原因の分析を行っていく必要がある。ご指摘のとおり、自治会の果たす役割は非常に重要であると考えており、三重県宅地建物取引業協会とも協定を締結し、自治会加入の促進に向けた取り組みを行っているものの、任意加入団体であるという自治会の性格が根本にあり、解決の難しい課題となっている。

## 都市・環境常任委員会

- 粗大ごみ戸別有料収集について、高齢化により、家の前までごみを出すことができない人もいると聞いており、今後、そうした事例がさらにふえると考えているが、市としてどのように対応していくのか。  
⇒委員) 本市の高花平・三重団地においては、地域支え合い事業としてごみ出し等の生活支援を行っており、こうした先進的な取り組みをどのように各地域に広めていくのかということについては、今後の重要な課題であると認識している。
- 資源物の持ち去りについて、私の地区では持ち去り者の車のナンバーを控えるなど、持ち去り者を特定しているが、市としてどのような対策を行っているのか。
- 関連して、資源物の持ち去りについては、本腰を入れて取り組まなければならない課題であり、それを解決してからごみの分別方法の変更を行うべきである。各地域の住民が一生懸命分別を行い、ごみの立ち当番を置いて管理をしても、結果的に持ち去られるのであれば、努力が水の泡であり、何のために分別や立ち当番をしているのか分からない。  
⇒委員) 市の職員も現地を確認し、持ち去り者への指導・警告など、体を張った対応をしているが、市には相手を捕まえる権限はなく、持ち去り者の行動も交通違反など悪質化してきているため、警察との連携を強化し、種々対応を行っているところである。

## 意見書

- ◆ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出（提出先 内閣総理大臣ほか）
- ◆年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書の提出（提出先 内閣総理大臣ほか）

## 四日市のまちなかを元気にするキャッチコピー募集について

四日市市議会「まちなか元気づくり議員連盟」では近鉄四日市駅、JR四日市駅周辺の商店街や自治会と協力して『まちを盛り上げ、みんなが集まるまちを作り、四日市に元気があふれるキャッチコピー』を2月29日（月）まで、募集することにしました。みなさんの素敵なアイデアをお待ちしています！市議会ホームページをご覧いただくか、下記のQRコードを読み取ってサイトへアクセスしてください。

※最優秀キャッチコピーは中心市街地のキャッチコピーとしてさまざまな場面で活用させていただきます。

※応募いただいたキャッチコピーの著作権は四日市市議会まちなか元気づくり議員連盟（以下、議連）に帰属するものとし、議連により適正に管理、活用させていただきます。



## あとがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

**広報広聴委員会** (◎委員長 ○副委員長)

◎加納 康樹 ○諸岡 覚 荒木 美幸 笹岡秀太郎  
谷口 周司 土井 数馬 豊田 祥司 樋口 龍馬

## 議員説明会を開催

11月13日に四日市市まち・ひと・しごと総合戦略の策定と幼稚園・保育園のあり方について、行政側から説明を受けました。それらに対して、議員からは多くの質疑や意見が出されました。

## 市議会ホームページについて

市議会では、市議会ホームページにおいて本会議や代表質問・一般質問の会議録、議案や議決結果、文書質問の質問書と答弁書、議会日程、議会報告会などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

ホームページのアドレス

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>

## 市議会モニターの皆さんとの意見交換会を開催

11月9日に市議会モニターの皆さんと広報広聴委員会の委員との意見交換会を開催しました。3グループに分かれて、「市議会を傍聴・視聴して思うこと」「市議会の広報について」「議会運営について」「議会報告会について」の四つをテーマとして、活発な意見交換が行われました。

意見交換会の概要については、市議会ホームページの「お知らせ」に掲載していますので、ぜひご覧ください。



## 市議会文化祭を開催します

2月12日から3月23日（土・日曜日、祝日を除く）まで市役所10階のラウンジで絵画や書、陶芸などの議員創作作品の展示を行います。ぜひお越しください。

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

**Eメールアドレス** shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

**ホームページ** <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>